

こんなことが決まりました

9月定例議会は、9月9日から17日間の会期で開かれました。審議内容の主なものは以下のとおりです。

★平成25年度補正予算案

一般会計 **1億8353**万円 増額
 特別会計 **1億 259**万円 増額
 (詳細はP6・16に)

他に報告1件、予算、条例関連で計15件の議案が提出され、各常任委員会に付託し、本会議場においても十分な審議を経て全案件を全会一致で承認・可決した。

★議員提出議案3件

- ① 松前町議会委員会条例の一部を改正する条例
- ② 「道州制導入に断固反対する意見書」の提出
- ③ 松前町議会会議規則の一部を改正する規則

☆平成24年度決算認定関連の2議案

新設した予算決算常任委員会に付託、閉会中の継続審査とした。



条例制定

松前町子ども・子育て会議条例は

◎国の子ども・子育て支援法の規定に基づき設置

するもの

○会議の役割

子どもや子育て支援に関係する施策を考えると、保護者や児童福祉、幼児教育などの専門家に関わってもらい、より充実したものにするために設置する。

○会議の構成委員
 ・保護者
 ・子ども支援事業に従事する者

する者

・大学の先生など専門家
 ・障害児支援に携わる者
 など15人以内

○任期

2年以内。
 再任はできる。

議論になった項目

町道東176号線の道路認定をめぐる

9月20日の産業建設常任委員会で町道東176号線については、継続審査となっていたため本会議の最終日に採決し、否決した。直ちに再度委員会を開催し、審査しなおした結果、全員一致で可決した。

老朽化した駅をまたぐ陸橋を改修し自由通路として町道認定の承認を要請。

また国、県の補助金の申請時期が迫っているし、地域の長年の要望でもあると提案理由を付加した。

★ これに対し、町の試算は1億5千万円かもしれないが、JR側の詳細設計による総額が不明で

理事者側よりJR貨物基地移転に伴う周辺地域整備の一環として現在の

あり高額の試算が出る可能性も十分あるなかでは承認できかねる。
 自転車も通行できる歩道橋でしかもホームに降りれる利便性もあるのならJRの負担もあっていいのではないかななどの反対意見もあった。

★ 一方で6月の詳細設計費用2千万円も承認しているし、この時期を逃すと周辺住民の要望が実現できないかもしれないので町道認定はすべきとの賛成意見もあった。

結果、再審議の末、全員一致で採択した。